この取扱説明書は、必ずご使用される方にお渡しください。

水道用減圧式逆流防止器 ＢＸ型
減圧式逆流防止器 ＣＸ型

取扱説明書

お願い

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。当社では、この製品を安心してご使用いただけますよう細心の注意をはらって製作しておりますが、その取扱いを誤りますと思わぬ事故を引き起こすこともありますので、この取扱説明書に従い、正しくご使用くださいますようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

設備工事を行う皆様へ

この取扱説明書は、製品の操作・保守・点検を行うお客様に必ずお渡しください。

目　次

１　警告表示について・・・・・・２
２　安全上の注意・・・・・・２
３　はじめに・・・・・・３
４　製品用途・・・・・・３
５　製品仕様・・・・・・３
６　構造・・・・・・４
７　取付方法・・・・・・５
８　設置上の注意・・・・・・６
９　運転・・・・・・６
１０　保守・・・・・・６
１１　分解要領・・・・・・７

1 警告表示について

ここに示した注意事項は、本製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するための表示をしています。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

その表示と意味は次のようになっています。

⚠警 告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注 意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負うか又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

また、守っていただく内容を次の絵表示で説明しています。

⃠	禁止（してはいけないこと）を表示します。 具体的な禁止内容は、記号の近くに絵や文章で指示します。
❗	強制（必ずすること）を表示します。 具体的な強制内容は、記号の近くに絵や文章で指示します。

2 安 全 上 の 注 意

⚠警 告	本製品は重量物ですので,配管取り付けなどの際には,製品本体を確実に支えるなどの注意を払ってください. ※製品が落下しますと、大事故となる恐れがあります。	❗
	本製品を配管取付後、水を流す前に配管末端まで水が流れても危険のない事を確認してください。 ※水が噴出した場合、器物損壊や大事故となる恐れがあります。	❗
	本製品の分解に当たっては，一次側の供給弁を閉止し、二次側配管内の水を徐々に排出して逆流防止器内の圧力がゼロになっていることを確認してから行ってください。 ※水が噴出した場合、器物損壊や大事故となる恐れがあります。	❗
⚠注 意	本製品の分解にあたっては、器具の点検・維持管理の訓練を受けた方（設備、工事業者の方など）が実施してください。 一般のご使用者は分解しないでください。排水が止まらない、流れが不安定などの異常がある場合は、設備、工事業者または当社に処置を依頼してください。	❗
	本製品を使用する前に、製品についているラベルの表示、及び３頁の仕様とを確認してください。使用条件が仕様を満足することを確認の上、製品をご使用ください。	❗
	本製品の機能・性能の確認のため、日常点検・年１回定期点検を実施してください。	❗

３ は　じ　め　に

お手元に届きましたら、すぐに下記の点をお調べください。
１．注文通のものかどうか、箱の表示を見てご確認ください。
２．輸送中の事故で破損箇所がないかどうか、ご確認ください。

４ 製　品　用　途

ＢＸはブースターポンプ、化学プラント、病院、メッキ工場の上流側に使用されます。
ＣＸはスプリンクラー、給湯機、アパート、マンション等の各フロアー給水配管の上流側に使用されます。

５ 製　品　仕　様

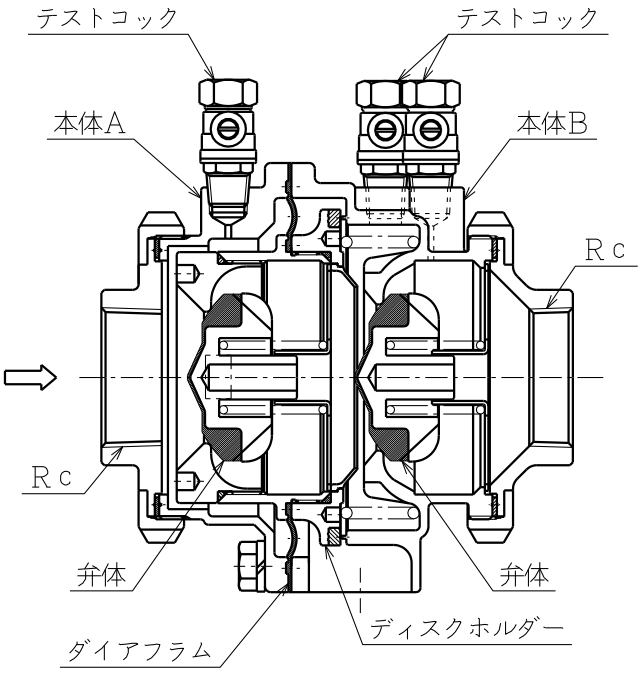
お買い上げいただきました製品の仕様を次の表に示します。

型式	ＢＸ／ＣＸ					
呼び径	２０	２５	３０	４０	５０	７５
使用流体	上水					
使用温度	０～６０ ℃					
使用圧力	ＢＸ　0.1 ～ 0.75 MPa ＣＸ　0.05 ～ 1.0 MPa					
耐 圧 試 験	ＢＸ　1.75 MPa ＣＸ　2.0　MPa					
接 続 規 格	ＪＩＳ Ｂ ０２０３ ねじ込み					JIS B 2240 JIS 10K F

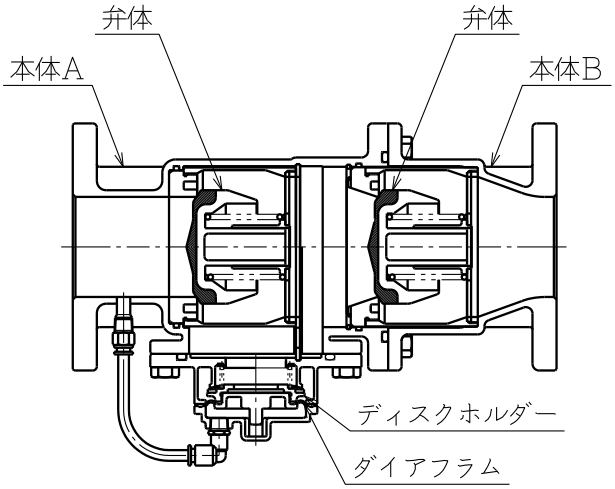
⚠警 告	仕様から外れた範囲では、ご使用にならないでください。	⃠

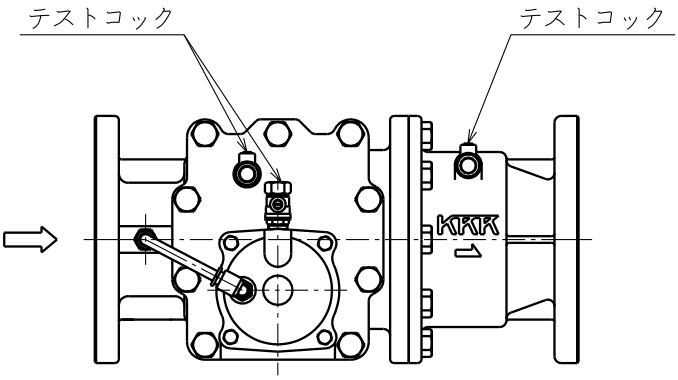
６ 構　　造

呼び径２０～５０

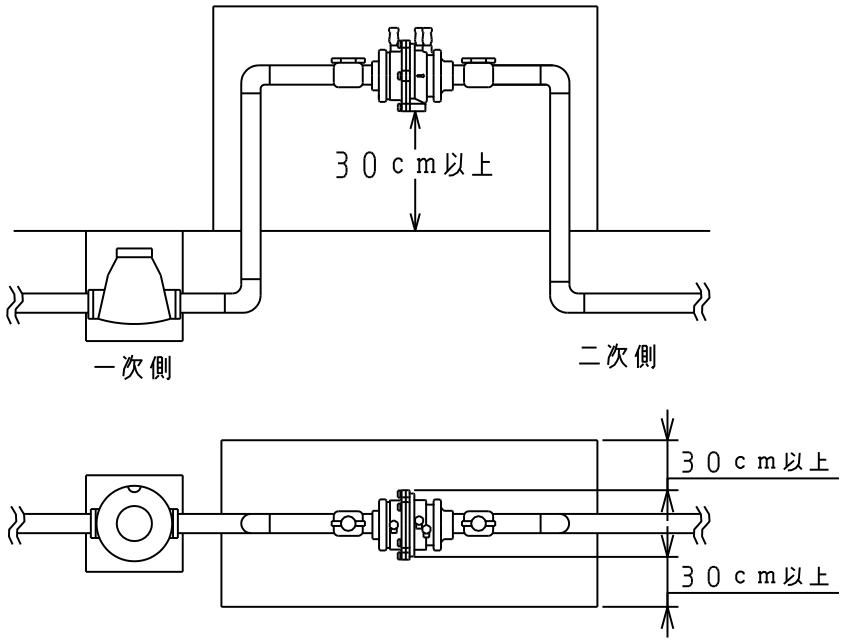
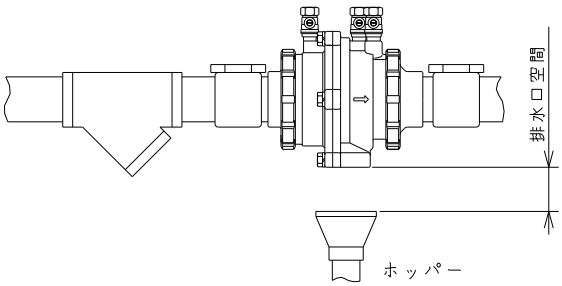


呼び径７５





７ 取　付　方　法

⚠注 意	呼び径２０～５０の逆流防止器は、一次側、二次側の継手・袋ナットが工場出荷時は仮締めのため、配管設置後に必ず締付けし、漏れがないことを確認してください。	❗
	メンテナンスのため、逆流防止器の前後に必ず閉止弁を設け、一次側閉止弁と逆流防止器の間には必ずストレーナを設置してください。	❗
	設置位置は、床上より最低３０ｃｍ以上で配管してください。又横方向はメンテナンスがしやすくするためのスペースを３０ｃｍ以上確保してください。又やむを得ずマス内に設置する場合も同様にスペースを確保してください。	❗
	逆流防止器は水平に設置してください。	❗
		❗
	逃し弁の排水口に排水管を設置する場合はパイプを直接接続せず、一旦ホッパーに受けて排水口空間は、排水口径の２倍以上の距離を離して設置してください。（最小４０mm以上）	❗
	 形　式 / 排水口空間 ＢＸ・ＣＸ ２０～２５ / ４０mm以上 ＢＸ・ＣＸ ３０～５０ / ６７mm以上 ＢＸ・ＣＸ ７５ / ９５mm以上	❗

８ 設 置 上 の 注 意

⚠ 注 意	逆流防止器を取りつける前に配管内を丁寧にフラシングを行い、ゴミ金属粉、シールテープなどの異物を除去してください。	❗
	逃し弁の排水管は必ず排水溝等へ導入してください。	❗
	屋内、やむを得ずマス内に設置する場合は、床面に防水処理を施してください。	❗

９ 運　　転

⚠警 告	本製品を配管取付後、水を流す前に配管末端まで水が流れても危険のない事を確認してください。 ※水が噴出した場合、器物損壊や大事故となる恐れがあります。	❗
⚠注 意	長期間運転を休止する場合は、製品及び配管内の水を排出してください。 ※配管内の錆の発生などによる故障、あるいは凍結による破損の恐れがあります。	❗

●試運転

1）給水側の閉止弁を徐々に開いて、各部の継目から漏れがないか確認し、漏れのないことを確認して閉止弁を全開にしてください。

2）最低使用圧力以下の場合は逃し弁から漏れますので、注意してください。

●運転

試運転終了後、そのままの状態で通常運転できます。

１０ 保　　守

⚠警 告	本製品の分解に当たっては，一次側の閉止弁を止め、器具内の流体を徐々に排出して圧力がゼロになっていることを確認してから行ってください。 ※流体の噴出しにより、周囲を汚したり、怪我をする恐れがあります。	❗
⚠注 意	所有者及び点検者は、下記の点に注意してください。 ・ 所有者は、器具の設置後、器具の点検・維持管理の訓練を受けた者に依頼し、差圧弁（テストキット）などを用いて試験を行い、年１回定期点検を行う必要があります。（専用のテストキットで測定してください。） ・ 定期点検とは、逃し弁作動時の上流側と中間室との差圧測定、逆流時の第一・第二逆止弁の水密状測定を行う。 ・ 点検者は、点検を行ったとき、記録の作成及び保存を行い、器具の所有者に提出すること。点検項目は点検用紙に基づいて実施する。	❗

⚠注 意	・ 不適合性能が生じた場合、現地修復が不可能な時は弊社適合品ユニットと交換してください。	❗
	長期間運転休止後の再運転時には、機能・性能を確認するため、作動点検を実施してください。	❗

１１ 分　解　要　領

●ＢＸ／ＣＸ２０～５０の分解

1）　第二逆止弁の分解方法

（１） 袋ナットＢを外すと、継手ＢとパッキンＢが外れます。

（２） 止メ輪を外すと、バネ受とバネＢが外れ、第二逆止弁が外せます。

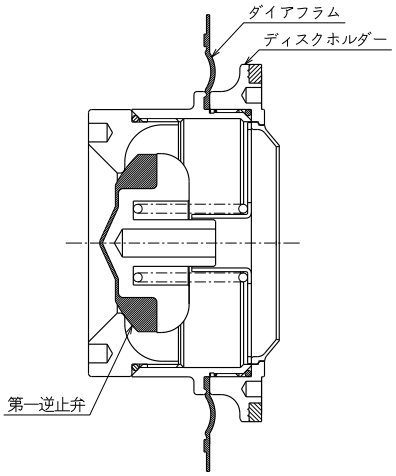
2）　第一逆止弁、逃し弁（第一逆止弁ユニット）の分解方法

（１） 本体Ａを締めている六角ボルトを６本ゆっくり外して下さい。（外す時、第一逆止弁ユニットが急に飛び出すことがありますので、ご注意下さい。）

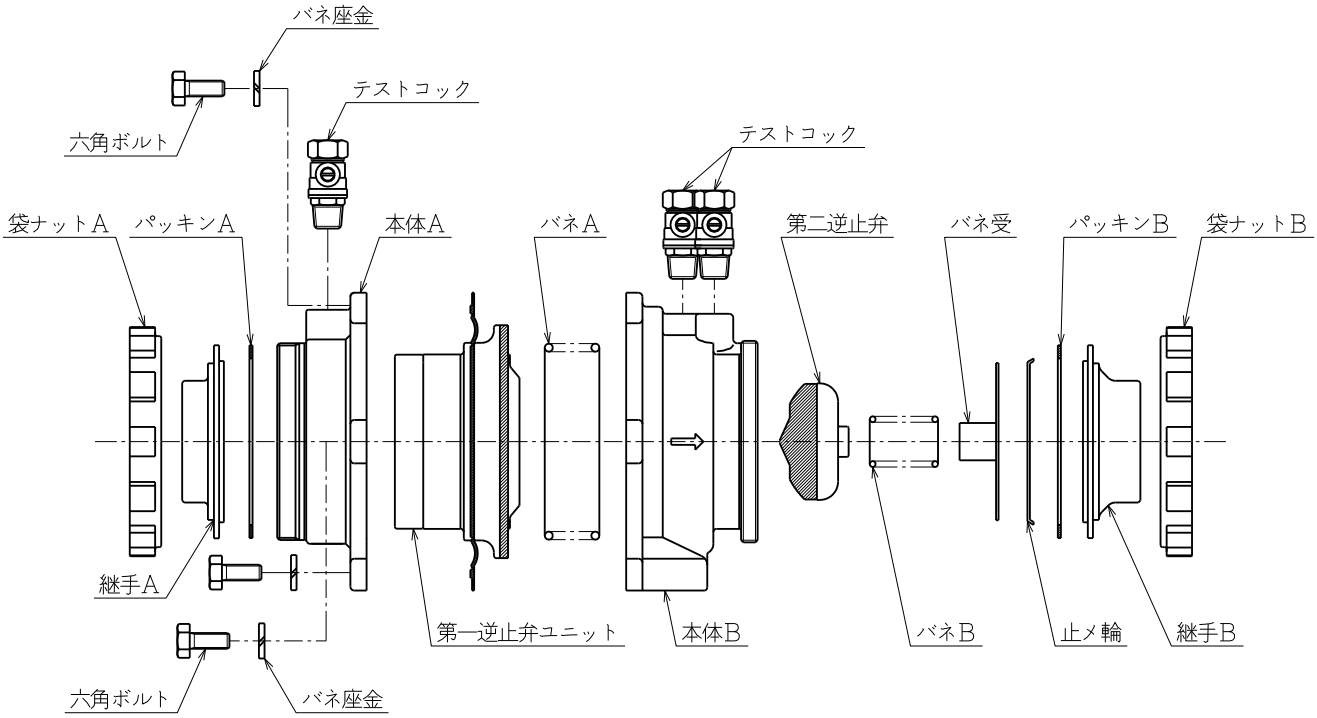
※１．カバーを組み付ける時は、ボルトを対角線ごとに締め、片ぎきしない様にしてください。

※２．第一逆止弁ユニットに組み込まれている第一逆止弁の部品と第二逆止弁の部品は、共用できません。

※３．第一逆止弁ユニットは分解出来ません。



第一逆止弁ユニット



●ＢＸ／ＣＸ７５の分解

１）　逃し弁の分解方法

（１）逃し弁カバー部の４本のボルトＡを外すと逃し弁カバーが外れ、ダイアフラムユニットと逃し弁バネが取り外せます。

※１．逃し弁カバーを組み付ける時は対角線ごとに締め、片ぎきしない様にして下さい。

２）　第一逆止弁、第二逆止弁の分解方法

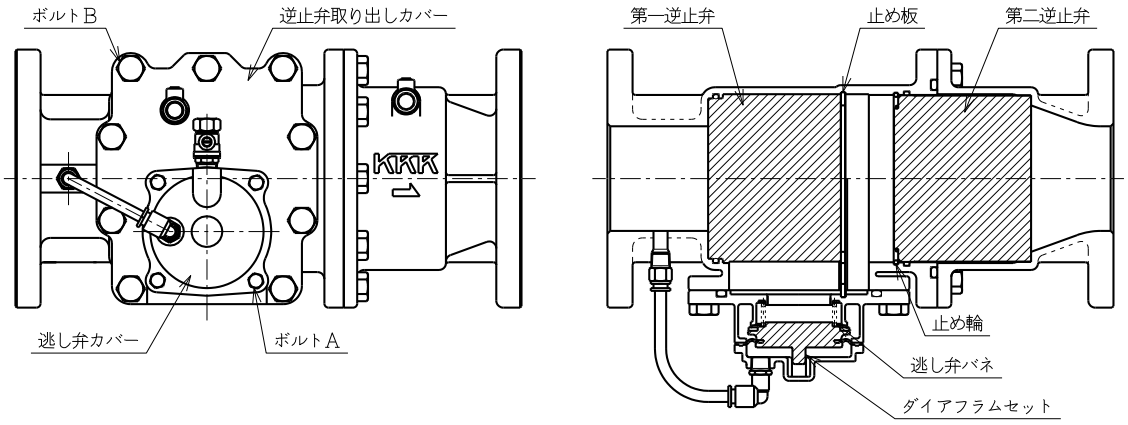
（１）逆止弁取り出しカバー部の９本のボルトＢを外すと逆止弁取り出しカバーが外れます。止め板を手前に引き抜くと、第一逆止弁が取り出せます。

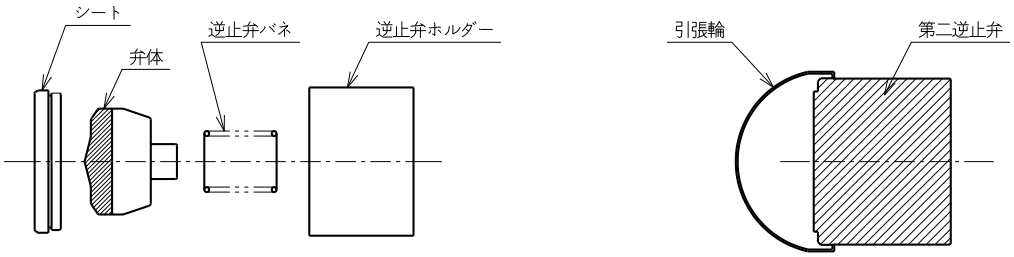
（２）第二逆止弁手前にある、止め輪をつまみ取り外します。次に、第二逆止弁についている引張輪を起こし手前に引く事で第二逆止弁が取り出せます。

（３）取り出した逆止弁は、弁体側のシートを回す事で分解できます。

※１．シートを回す時は傷を付けない様にして下さい。逆止弁漏れの原因となります。

※２．逆止弁取り出しカバーを組み付ける時は対角線ごとに締め、片ぎきしない様にして下さい。





逆止弁分解

KKK KANE 兼工業株式会社
本社工場 〒485-0802 愛知県小牧市大草２０３６番地
URL:https://www.kanevalve.co.jp

■お客様相談窓口
本　社 TEL (0568)79-2476(代)　名古屋 TEL (0568)79-8387
札　幌 TEL (011)788-2712　大　阪 TEL (06)6541-2040
仙　台 TEL (022)290-8910　広　島 TEL (0829)20-5151
東　京 TEL (03)3635-4541(代)　福　岡 TEL (092)472-9106